

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>地域づくり交付金の食料費について</p>	<p>市の事業で笑顔食堂を来月実施する計画でいるが、材料（食材）費については、地域で負担する予定である。地域づくり交付金の運用マニュアルでは、食料費は対象外となっているが、今回の開催目的を考慮して材料（食材）費も対象にしてほしい。</p>	<p>今年度からスタートする第2期から、予算総額をこれまでの約1.5倍に増額し、運用についても、地域がより使いやすいように改定させていただきました。これまでも食料費を交付対象にしてほしいという御要望はありましたが、やはり認められないという結論に至りました。例えば、ボランティア清掃で昼をまたがる作業をしていただくときには、水分補給のためのお茶代に加えて、弁当代なども対象にしていますが、地域住民の交流イベントでの食材費や地域住民の親睦などに係る食料費については、なかなか線引きが難しく、今回の制度設計を検討する中でも、認められていないところです。様々な御要望はいただいていますので、担当課においても運用ルールについては、引き続き検討されるものと思います。</p>	<p>—</p>	<p>企画情報課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
市立宇和島病院の初診料について	市立宇和島病院に4年ぶりに通院したが、紹介状が無ければ、初診料が2,700円と聞いてびっくりした。症状が4年前に手術したのと同じだったので、市立宇和島病院に行ったので腑に落ちないところがある。	その点については大変ご迷惑をおかけしていると思います。旧宇和島市域においては、とりあえずは（総合病院である）市立宇和島病院に行って、診察してもらえば安心するという空気があると感じます。（かかりつけ医を持たない）そういった意識の患者さんが多数来院することで、（地域の基幹病院である）市立病院に大きな負担がかかっているのが現実です。病院局では、急性期や重篤な患者さんへ、必要なときに必要な医療を提供できないという状況が生まれている中で、市民の皆様にもできる限り、かかりつけ医を持っていただき、軽症でも（市立宇和島病院に）来院される方にも啓発しようと、様々な取り組みをしていると理解しているところです。	<p>当院では平成28年8月から、初診時に紹介状をお持ちでない患者様については、非紹介患者特別初診料（2,700円）のご負担をいただいております。これは、病院と診療所の役割分担を明確にするという、国の医療施策に基づくものです。迅速に適切な治療ができますように、当院を受診される場合には紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。</p> <p>また、平成30年3月から、紹介状をお持ちいただいた患者様の受診をスムーズに案内するため、2階総合受付に「紹介患者様専用窓口」を設置しています。</p> <p>※非紹介患者特別初診料の対象となる場合とは、①初めて当院を受診する場合、②1年以上受診がない場合、③1年以内に受診があるが、前回の治療が終了し再び来院された場合などです。</p>	市立宇和島病院（医事課）

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
他地区のタウンミーティング結果について	タウンミーティングの各公民館での質問事項や市の対応を後日で構わないので、各公民館に送ってほしい。	各公民館には整理ができ次第、順次回答を掲示します。また、市ホームページでも公開し、他の公民館でのタウンミーティングの様子も確認できます。	御意見に対しての補足説明の調整や現場確認等でフィードバックまでにお時間をいただきますが、御理解いただきますようお願いいたします。	市長公室
浄化槽のくみ取り料金の改定について	浄化槽のくみ取り料金について、以前から料金体系がおかしいと疑問に思っていた。津島はへき地が多く、業者が1日にくみ取れる件数が少ないので、高いと聞いている。これは半公共料金的なものだと思う。合併してから10年が経過しているので、料金改定についてぜひ検討していただきたい。旧宇和島市内でも蔭淵地区はへき地であるが、宇和島料金として安いと聞いている。	地域によって料金の差があるということは聞いています。この点につきましては、まだ十分な認識ができておらず、申し訳ありません。担当課にこのようなお声があったことを伝え、改めて考え方をお答えしたいと思います。	<p>現在まで、し尿・浄化槽汚泥の汲取りにつきましては、市の許可業者による区域割りを設定し、安定的な収集体制に努め、また、料金体系に関しましては、各地域の収集環境等も考慮し、合併前の料金体系を踏襲し現在に至っているところです。</p> <p>御指摘の収集単価の改定につきましては、急速に過疎化が進むなか、安定的な収集体制の維持を前提に、県下自治体の状況も参考としながら慎重に検討していく必要があると考えています。</p>	生活環境課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>地域づくり交付金の活用方法の開示について</p>	<p>第2次地域づくり交付金のスタートにあたり、情報開示がなされていない。前回はいろいろな市のホームページから検討させてもらった。今回、宇和島市のホームページに情報を公開しているだろうと思い確認したが、残念ながら過去の事例も含めて情報が得られなかった。情報開示をして、地域住民が地域づくり交付金を使える事例を知ったうえで、事業計画を立てるのが筋だと思う。今回は4月末までに市からの説明がないまま、提案を出すように言われた。事業計画を出すまでに市から説明があるのが筋だと思う。</p>	<p>地域づくり交付金については、これまでのタウンミーティングでも様々な御指摘を受けています。今回、説明会を行ってから計画書を提出するまでの期間が短かったことについては、反省したいと思います。担当課において、新制度の設計に3月下旬までを要し、地域住民の皆様へ情報を開示する時期が遅くなったことについては、率直にお詫び申し上げます。今後は、市が新しい制度を作る場合には、できるだけ早く、地域住民の皆様にお知らせしたいと思います。他地域の地域づくり協議会での活用事例については、可能な限り情報共有できるよう担当課に指示します。</p>	<p>活用事例につきましては、市のホームページに掲載しました。</p>	<p>企画情報課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>コミュニティバスと公共交通機関の料金格差について</p>	<p>下灘でコミュニティバスが走るようになったが、畑地、北灘との料金格差がある。なんらかの対策が必要ではないかと思う。</p>	<p>5月31日に由良半島への宇和島自動車路線バスの運行が終了し、その代替交通として、コミュニティバスを須下、成まで延伸するようにしました。（民間バス会社が）公共交通として、地域の路線を維持することが難しくなっている状況です。コミュニティバスは土日に運行していないということで、御不便もおかけしています。路線バスとコミュニティバスの運賃格差については、御意見として担当課にしっかりと伝えておきます。</p>	<p>市のコミュニティバスは、民間バス路線の廃止に伴い、代替旅客運送として運行しています。民間のバス路線に比べ、運賃は安く御利用いただけますが、土・日曜日については運休、そして途中の乗り降りに制限もあり、路線によっては、その便数が少なく、また利用するために予約が必要な場合もあります。それら一式を考慮したうえで、現在の料金体制となっているものです。</p>	<p>企画情報課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
鳥獣害被害対策について	友人と野菜づくりや果物づくりの話題で盛り上がっている。農業をしたことあるないに関わらず、現役をリタイアすると日々農業をすることが楽しみになっている。作物の作り方は調べて分かるが、有害鳥獣の対策が分からない。少しでも害が減るようにしてほしい。農業は健康づくりの面でもいい。保険料の面で財政も儉約できると思うので、作業は自分たちでするので多少財源がかかってもお願いしたい。市から金網をもらって地元で設置したこともある。	農作物の鳥獣被害については、件数、被害金額ともに増加しているところです。小池地区においては、イノシシが里山に居着いてしまって、しばらくの間、農林課職員が小学生の下校時の安全確保をする事例も発生するなど、イノシシやシカが人間の生活圏に近い里にまで下りてきているのだなど実感しています。宇和島市では、鳥獣を駆除いただいた方に一定の費用を支払っています。その捕獲方法は、鉄砲より罠の方が圧倒的に多い状況です。鳥獣害対策については、これからも継続して取り組んでいきますし、先般、本市では愛媛県市長会を通じて、国・県に対し鳥獣害対策の充実について要望を上げています。御提言どおり、鳥獣被害防止のための柵などの資機材のみを提供させていただき、敷設については地元の方々をお願いするというのも1つの選択肢だと思えます。今後とも議論したいと思います。	現在農林課で、鳥獣管理専門員の講習を職員が受けており、鳥獣被害の相談にも乗れる体制を構築していますので、御利用を御検討ください。また、狩猟免許の助成は行っていますので、意欲がある方は自ら畑を守るため率先してこれを御利用いただき、野生鳥獣対策の一助としていただきたいと思います。御意見にあります以前の金網設置につきましては、市が購入して地元提供したわけではなく、国庫補助事業を利用し、資材費を10割補助で導入したものでしたが、現在は会計検査の指摘により行っていません。なお、農林課が防護柵施工の対象とするのは職業農家であるため、家庭菜園等は対象となりませんので御理解ください。	農林課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>企業誘致について</p>	<p>岩松保育園の裏手に広い雑種地がある。開発して企業誘致してはどうか。（雇用促進も踏まえて）</p>	<p>企業誘致については、愛媛県との連携の中で、三間ICを降りたところに「源吉兆庵」においでいただきました。雇用についても、今後100人程度の規模で採用していただける企業です。そのうえ、製品に使う原料（果物等）をこの地域で生産し、納入させていただいているという点において、農林水産業を基幹産業としているこの地域にとっては、波及効果の高い企業です。企業誘致は、（雇用を生み）Uターンのきっかけになりうるものですが、昨今の企業サイドの考え方としては、人員不足が深刻化する中で、地域の支店・工場などを、労働力が確保しやすい都市部に集約する傾向にあると言われていています。また、大浦埋立地では、大手の水産加工会社も名乗りを上げていただいていると伺っています。その理由は、この地域に、水産加工に必要な労働力と原料（養殖魚類など水産物）があるということに尽きます。これからは、誘致できる企業であれば、どのような業態でも良いということではなく、この地域に来ていただく意味がある（例えばこの地域の産品を活用していただける等）企業誘致を進めることが問われてくると思います。</p>	<p>—</p>	<p>商工観光課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
竹の伐採（活用）について	山の手入れを皆が怠っていて、竹がものすごく生えている。竹の除伐をして竹の活用ができないかと思う。	山林が荒れると野生動物が居着いてしまい、鳥獣被害が出るなど悪循環に陥っていきます。竹はとくにやっかいなもので、日本各地で困っているところも多いと思います。どこにでもある竹に目を付けたのが、竹を活用したバイオマス発電の取組みであります。竹専用の燃焼機もあり、先だっの市議会においても御提案いただきました。本市においては、バイオマス発電にまでは及んでいませんが、竹林の管理については、国における森林環境税のお話もありますので、トータル的に考えて取り組んでいかなければと思っています。	竹をはじめとする山林の活用につきましては毎回議論にのぼるところではあります。森林組合等とも話はするのですが、杉・ヒノキを出すより単価が伸びないので、なかなか費用対効果の面で手を出しにくいという背景があるのが現状です。森林環境譲与税の件も絡めて、ここに何らかの山林整備にかかる補助制度も組めるようであれば、検討を重ねていきたいと思っています。 (農林課)	農林課 生活環境課



事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>小学校への照明設置について</p>	<p>岩松小学校の運動場には夜間照明がなく、ソフトボールの練習に清満小学校まできている。できれば夜間照明を設置してほしい。</p>	<p>以前、鶴島小学校の照明について、市にかけあったことがあります。その際に、かつて明倫小学校に照明設備を設置するときに、個人の負担で取り付けを行ったことがあります。それ以来、照明設備を設置する際は受益者負担の考えで、地元の方々に設置していただくようお願いしているということを聞いたことがあります。小学校の照明設備について、現在、市がどのように関わっているのか担当課に確認させていただきます。</p>	<p>市設置の夜間照明施設（学校関係）は以下のとおりです。  <b>【宇和島】</b> 城南中、高光小、三浦小、遊子小、日振島小、旧宇和海中、旧九島小、旧石心小、旧小池小  <b>【吉田】</b> 吉田中、立間小、玉津小  <b>【三間】</b> 三間中  <b>【津島】</b> 津島中、清満小、畑地小、御槇小                  担当課としましては、学校グラウンドにおける既存の照明設備の管理は継続しますが、上記の他に新たに学校グラウンドに夜間使用が目的の照明設備を設置する考えはありません。清満小学校グラウンドについては、少年ソフトボール（週3）、陸上クラブ（週2～3）のほか、社会人ソフト（年4～5）や消防団訓練での使用がありますが、津島中学校グラウンドでは新校舎完成（平成28年11月）以後、社会体育での使用実績がありません。津島中学校の使用を検討するのも一つの方法と考えます。</p>	<p>文化・スポーツ課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
市施設へのソーラー発電設置について	<p>大型の市の施設にソーラー発電を整備すると今後何十年間にわたって経費節減になるのではないかとと思う。あちこちで大型の施設に付けているのを見るので、検討してみてもどうか。</p>	<p>初期の設備投資にはお金がかかりますが、昨今は再生エネルギーを（積極的に）活用しようという流れですので、ソーラー発電の設置については、先ほど説明した計画（スポーツ交流センター、パフィオうわじま）には無かったものですが、どう活用できるかはしっかりと考えて、必要とあれば後付けでもできると聞いていますので、考えていきたいと思います。</p>	<p>パフィオうわじまの屋上部分につきましては、子育て支援センターの屋外遊技場、機械設備の設置場所としており、空きスペースはありません。 (都市整備課)</p>	<p>生活環境課 文化・スポーツ課 都市整備課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>小学校の統廃合について</p>	<p>旧町の小学校はセントラル式で岩松小までバスで通うことになると話が回っていると聞いた。子どもが少ないということは、逆に1人1人目に向けていることができるということなので、何か施策に反映してもらえれば清満の子どもたちがここに帰ってくるができると思う。</p>	<p>市教育委員会では、小中学校の適正配置についての意見書を受けて、その中でこれからの学校運営をどのようにしていくのかを考えているところです。地域においては、やはり学校が（地域コミュニティの）中心であり、子供の数が減少しても学校を残さなければならないという考え方もあります。子供の数が少なければ、教職員も子供たちにより密接に接することができるという考え方もあります。一方、子供を持つ保護者の皆様の中には、子供たちを一定の生徒数がある教育環境で、多様な価値観に触れながら、子供たちを育てたいという御意見もあります。統廃合を決定をする際には、地域の方々、保護者の方々としっかりお話をすべきであると思います。市全体でも子供の数が減っている中で、当然、学校の適正配置は考えるべきであると思いますが、現時点で清満小学校ではこの話ようなお話はないと思います。</p>	<p>—</p>	<p>教育総務課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
幼稚園の保育園化について	<p>清満幼稚園は現在6名で、3年したら無くなると思う。幼稚園の保護者から保育園にできないかとよく言われる。</p>	<p>本市においても共働き世帯が多く、（幼稚園より）保育園の方が圧倒的に需要があります。旧市域においても幼稚園になかなか子供を集められないというお話もお聞きします。幼稚園・保育園の適正配置についても、津島町域全体でしっかり考えていきたいと思えます。</p>	-	福祉課
地域づくり交付金の食料費について	<p>地域づくり交付金の食材費はやはり何とかならないか。会議のたびにそういう話が出てくる。公民館と地域で事業をしようとしても、その問題がネックになっている。なんとかお願いしたい。</p>	<p>私の個人的見解ですが、（ケースによっては）食料費というより事業費に近い性格のものもあると思います。しかしながら、様々な角度から検討した結果、今回も食糧費を対象とすることは難しいという判断に至りました。</p> <p>（第2次）地域づくり交付金については、これから5年間は継続することを約束させていただいていますが、予算規模や運用ルールは、弾力的に進化していくものだと思っています。</p>	-	企画情報課